結　果　の　概　要

1　令和６年 10 月１日現在推計人口

(1)　新潟県推計人口

－総人口は 2,098,804 人、前年同月から 27,472 人、1.29%減少。

減少率は過去最大－

令和６年 10 月１日現在の推計人口は 2,098,804 人でした。前年同月の推計人口に比べ 27,472 人、1.29%減少し、減少率は過去最も大きくなっています。

総人口は平成９年をピークに平成 10 年以降 27 年連続で減少しています。

市郡別にみると、市部は 2,029,818 人、郡部は 68,986 人でした。県総人口に占める市郡部の割合は市部 96.7%、郡部 3.3%となっています。（**図１、表１**）

図１　県 人 口 の 推 移

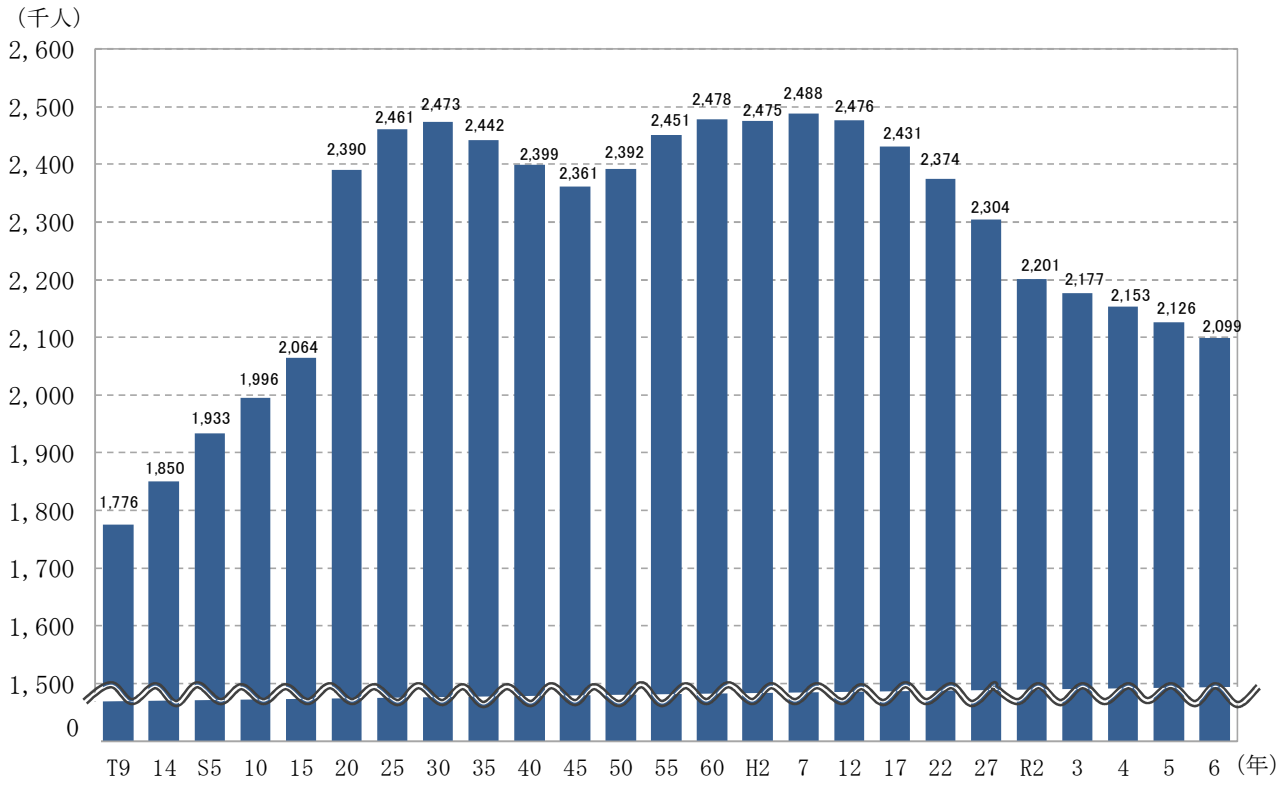


表１　県・市郡部人口の推移

（単位：人、％）

年　次	県		市　部		郡　部		市町村数	
	人　口	増減率	人　口	占有率	人　口	占有率	市	町　村
大正９(1920)　年	1,776,474	―	162,145	9.1	1,614,329	90.9	3	414
14(1925)	1,849,807	0.812	192,994	10.4	1,656,813	89.6	3	408
昭和５(1930)	1,933,326	0.887	213,908	11.1	1,719,418	88.9	3	400
10(1935)	1,995,777	0.638	263,077	13.2	1,732,700	86.8	4	398
15(1940)	2,064,402	0.678	314,150	15.2	1,750,252	84.8	5	394
20(1945)	2,389,653	2.969	326,364	13.7	2,063,289	86.3	5	388
22(1947)	2,418,271	0.597	414,875	17.2	2,003,396	82.8	6	386
25(1950)	2,460,997	0.585	444,266	18.1	2,016,731	81.9	6	381
30(1955)	2,473,492	0.101	1,152,987	46.6	1,320,505	53.4	19	160
35(1960)	2,442,037	△ 0.256	1,312,314	53.7	1,129,723	46.3	20	100
40(1965)	2,398,931	△ 0.356	1,362,318	56.8	1,036,613	43.2	20	96
45(1970)	2,360,982	△ 0.318	1,395,545	59.1	965,437	40.9	20	94
50(1975)	2,391,938	0.261	1,491,597	62.4	900,341	37.6	20	92
55(1980)	2,451,357	0.492	1,555,705	63.5	895,652	36.5	20	92
60(1985)	2,478,470	0.220	1,585,577	64.0	892,893	36.0	20	92
平成２(1990)	2,474,583	△ 0.031	1,592,959	64.4	881,624	35.6	20	92
７(1995)	2,488,364	0.111	1,612,444	64.8	875,920	35.2	20	92
８(1996)	2,490,831	0.099	1,615,646	64.9	875,185	35.1	20	92
９(1997)	2,491,874	0.042	1,618,005	64.9	873,869	35.1	20	92
10(1998)	2,491,353	△ 0.021	1,620,030	65.0	871,323	35.0	20	92
11(1999)	2,486,271	△ 0.204	1,617,969	65.1	868,302	34.9	20	92
12(2000)	2,475,733	△ 0.424	1,614,845	65.2	860,888	34.8	20	92
13(2001)	2,470,846	△ 0.197	1,640,339	66.4	830,507	33.6	20	91
14(2002)	2,463,961	△ 0.279	1,638,880	66.5	825,081	33.5	20	91
15(2003)	2,455,741	△ 0.334	1,646,090	67.0	809,651	33.0	20	90
16(2004)	2,448,025	△ 0.314	1,744,130	71.2	703,895	28.8	21	77
17(2005)	2,431,459	△ 0.677	2,185,946	89.9	245,513	10.1	21	22
18(2006)	2,419,889	△ 0.476	2,288,346	94.6	131,543	5.4	20	15
19(2007)	2,407,430	△ 0.515	2,277,427	94.6	130,003	5.4	20	15
20(2008)	2,395,139	△ 0.511	2,304,970	96.2	90,169	3.8	20	11
21(2009)	2,383,650	△ 0.480	2,294,128	96.2	89,522	3.8	20	11
22(2010)	2,374,450	△ 0.386	2,290,262	96.5	84,188	3.5	20	10
23(2011)	2,362,581	△ 0.500	2,279,078	96.5	83,503	3.5	20	10
24(2012)	2,347,092	△ 0.656	2,264,425	96.5	82,667	3.5	20	10
25(2013)	2,330,797	△ 0.694	2,249,168	96.5	81,629	3.5	20	10
26(2014)	2,313,820	△ 0.728	2,233,229	96.5	80,591	3.5	20	10
27(2015)	2,304,264	△ 0.413	2,224,567	96.5	79,697	3.5	20	10
28(2016)	2,285,856	△ 0.799	2,207,448	96.6	78,408	3.4	20	10
29(2017)	2,266,121	△ 0.863	2,188,696	96.6	77,425	3.4	20	10
30(2018)	2,245,057	△ 0.930	2,168,712	96.6	76,345	3.4	20	10
令和元(2019)	2,222,004	△ 1.027	2,147,128	96.6	74,876	3.4	20	10
２(2020)	2,201,272	△ 0.933	2,127,370	96.6	73,902	3.4	20	10
３(2021)	2,176,879	△ 1.108	2,104,213	96.7	72,666	3.3	20	10
４(2022)	2,152,664	△ 1.112	2,081,099	96.7	71,565	3.3	20	10
５(2023)	2,126,276	△ 1.226	2,056,005	96.7	70,271	3.3	20	10
６(2024)	2,098,804	△ 1.292	2,029,818	96.7	68,986	3.3	20	10
男	1,020,645		986,719		33,926			
女	1,078,159		1,043,099		35,060			

※１）大正９年から平成７年及び平成12年、17年、22年、27年、令和２年は国勢調査人口（昭和20年は人口調査による人口値、昭和22年は臨時国勢調査人口）、それ以外は国勢調査人口を基に、10月１日現在で算出した推計人口です。

※２）増減率は年率（幾何平均）です。

(2)　年齢３区分別人口（令和６年 10 月１日現在推計人口）

－年少人口割合は 10.6%で過去最低、老年人口割合は 34.3%で過去最高－

令和６年 10 月１日現在推計人口を年齢３区分別でみると、年少人口（0～14 歳）が 219,784 人、生産年齢人口（15～64 歳）が 1,141,236 人、老年人口（65 歳以上）が 710,844 人で、県人口に占める割合は、それぞれ 10.6%（前年 10.8%）、55.1%（同 55.2%）、34.3%（同 34.0%）となっています。年少人口の割合は過去最も低く、老年人口の割合は過去最も高くなっています。（**表２、図２**）

年齢構造指数の推移をみると、年少人口指数は昭和 25 年から一貫して低下し続けていましたが、平成 24 年以降は若干上昇傾向が続きました。平成 27 年に再び低下してからは、概ね低下で推移しています。一方で老年人口指数は昭和 50 年以降上昇が目立ち始め、年少人口指数の低下のポイント数を概ね上回り上昇し続けています。

この結果、昭和 50 年からは従属人口指数が緩やかに上昇しています。老年化指数は、昭和 40 年頃から急速に上昇し、令和４年以降は 300 を超えています。（**表２、図３**）

表２　年齢３区分別人口・構成比・年齢構造指数

年　次	年齢３区分別人口						年齢構造指数			
	年少人口 0～14歳	割合	生産年齢人口 15～64歳	割合	老年人口 65歳以上	割合	年少人口	老年人口	従属人口	老年化
大正 9年	690,091人	38.8%	987,080人	55.6%	99,303人	5.6%	69.9	10.1	80.0	14.4
14	717,988	38.8	1,035,266	56.0	96,553	5.2	69.4	9.3	78.7	13.4
昭和 5年	749,387	38.8	1,091,261	56.4	92,678	4.8	68.7	8.5	77.2	12.4
10	785,792	39.4	1,112,846	55.8	97,139	4.9	70.6	8.7	79.3	12.4
15	796,577	38.6	1,164,254	56.4	103,389	5.0	68.4	8.9	77.3	13.0
20	929,966	38.9	1,339,135	56.0	120,552	5.0	69.4	9.0	78.4	13.0
22	893,307	36.9	1,406,112	58.1	118,852	4.9	63.5	8.5	72.0	13.3
25	909,542	37.0	1,422,688	57.8	128,706	5.2	63.9	9.0	73.0	14.2
30	873,064	35.3	1,457,500	58.9	142,912	5.8	59.9	9.8	69.7	16.4
35	798,808	32.7	1,490,414	61.0	152,815	6.3	53.6	10.3	63.8	19.1
40	662,459	27.6	1,571,831	65.5	164,641	6.9	42.1	10.5	52.6	24.9
45	573,414	24.3	1,597,283	67.7	190,285	8.1	35.9	11.9	47.8	33.2
50	557,279	23.3	1,605,664	67.1	228,759	9.6	34.7	14.2	49.0	41.0
55	552,118	22.5	1,625,404	66.3	273,439	11.2	34.0	16.8	50.8	49.5
60	523,485	21.1	1,637,657	66.1	317,159	12.8	32.0	19.4	51.3	60.6
平成 2年	462,559	18.7	1,632,329	66.0	377,857	15.3	28.3	23.1	51.5	81.7
7	406,791	16.4	1,625,889	65.4	455,064	18.3	25.0	28.0	53.0	111.9
9	390,690	15.7	1,614,449	64.8	486,350	19.5	24.2	30.1	54.3	124.5
12	365,667	14.8	1,581,186	63.9	526,112	21.3	23.1	33.3	56.4	143.9
13	358,357	14.5	1,568,766	63.6	541,131	21.9	22.8	34.5	57.3	151.0
14	351,540	14.3	1,556,401	63.2	553,623	22.5	22.6	35.6	58.2	157.5
15	344,153	14.0	1,545,088	63.0	564,313	23.0	22.3	36.5	58.8	164.0
16	338,183	13.8	1,536,228	62.8	571,545	23.4	22.0	37.2	59.2	169.0
17	330,302	13.6	1,514,869	62.4	580,739	23.9	21.8	38.3	60.1	175.8
18	324,898	13.5	1,498,303	62.1	591,170	24.5	21.7	39.5	61.1	182.0
19	319,370	13.3	1,480,699	61.6	601,812	25.1	21.6	40.6	62.2	188.4
20	314,210	13.1	1,464,624	61.3	610,756	25.6	21.5	41.7	63.2	194.4
21	308,327	13.0	1,449,735	61.0	620,039	26.1	21.3	42.8	64.0	201.1
22	301,708	12.8	1,441,262	61.0	621,187	26.3	20.9	43.1	64.0	205.9
23	297,419	12.6	1,433,943	61.0	620,926	26.4	20.7	43.3	64.0	208.8
24	292,207	12.5	1,408,033	60.3	636,559	27.2	20.8	45.2	66.0	217.8
25	286,957	12.4	1,381,449	59.5	652,098	28.1	20.8	47.2	68.0	227.2
26	281,969	12.2	1,352,010	58.7	669,548	29.1	20.9	49.5	70.4	237.5
27	275,945	12.0	1,333,453	58.1	685,085	29.9	20.7	51.4	72.1	248.3
28	270,596	11.9	1,308,408	57.5	697,071	30.6	20.7	53.3	74.0	257.6
29	264,978	11.7	1,285,120	57.0	706,242	31.3	20.6	55.0	75.6	266.5
30	259,994	11.6	1,262,615	56.5	712,667	31.9	20.6	56.4	77.0	274.1
令和 元年	254,018	11.5	1,241,733	56.1	716,472	32.4	20.5	57.7	78.2	282.1
2	247,480	11.4	1,210,917	55.7	715,935	32.9	20.4	59.1	79.6	289.3
3	241,492	11.2	1,191,401	55.4	717,046	33.4	20.3	60.2	80.5	296.9
4	234,677	11.0	1,174,677	55.3	716,370	33.7	20.0	61.0	81.0	305.3
5	227,566	10.8	1,158,203	55.2	713,567	34.0	19.6	61.6	81.3	313.6
6	219,784	10.6	1,141,236	55.1	710,844	34.3	19.3	62.3	81.5	323.4

※１）大正９年から平成７年及び平成12年、17年、22年、27年、令和２年は国勢調査人口（昭和20年は人口調査による人口値、昭和22年は臨時国勢調査人口）、それ以外は国勢調査人口を基に、10月１日現在で算出した推計人口です。

※２）年少人口指数＝$\frac{\text{年少人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$　従属人口指数＝$\frac{\text{年少人口＋老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$

老年人口指数＝$\frac{\text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$　老年化指数＝$\frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$

※３）年齢別人口には、年齢不明を含まないため、年齢別人口の和は総人口に一致しません。

※４）割合は、分母から年齢不明を除いて算出しています。

図２　年齢３区分別人口の推移

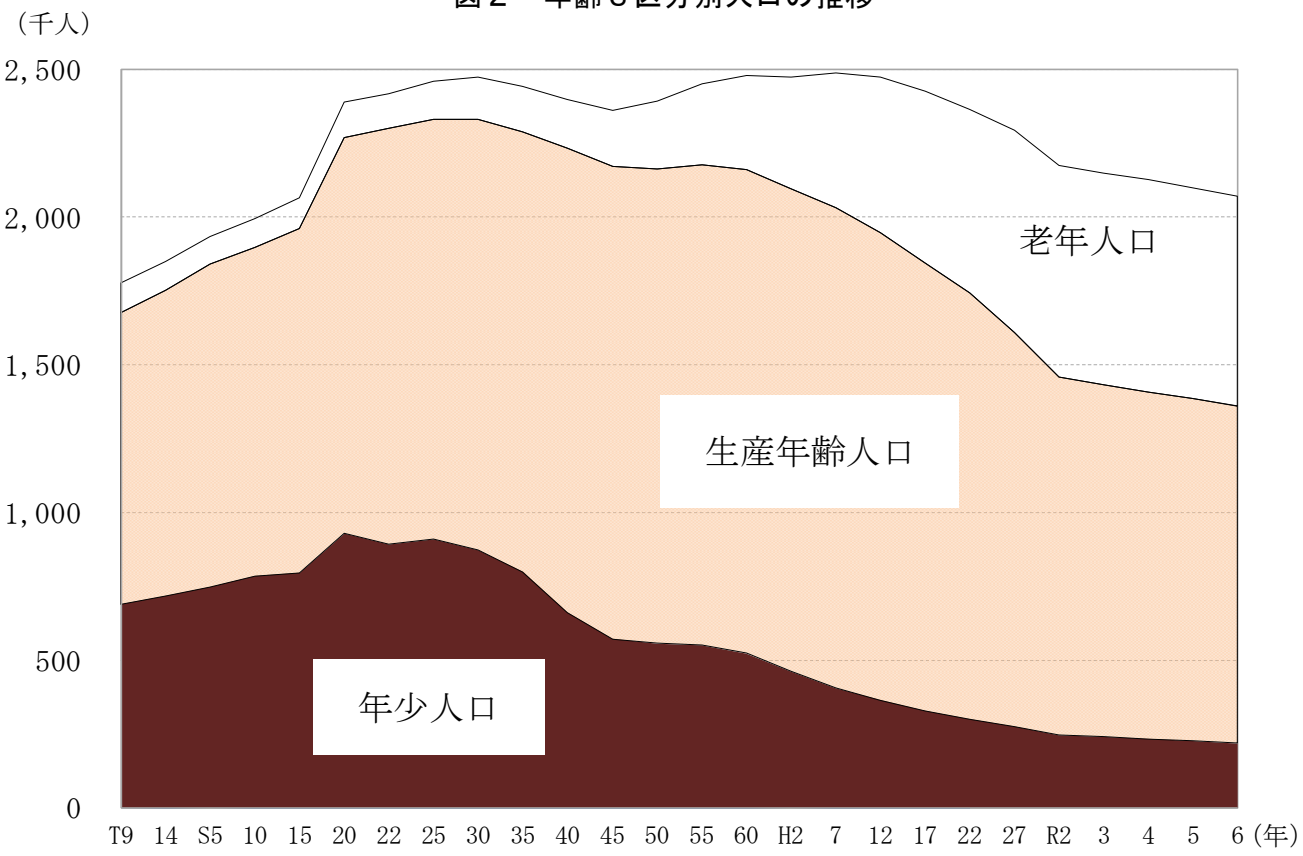
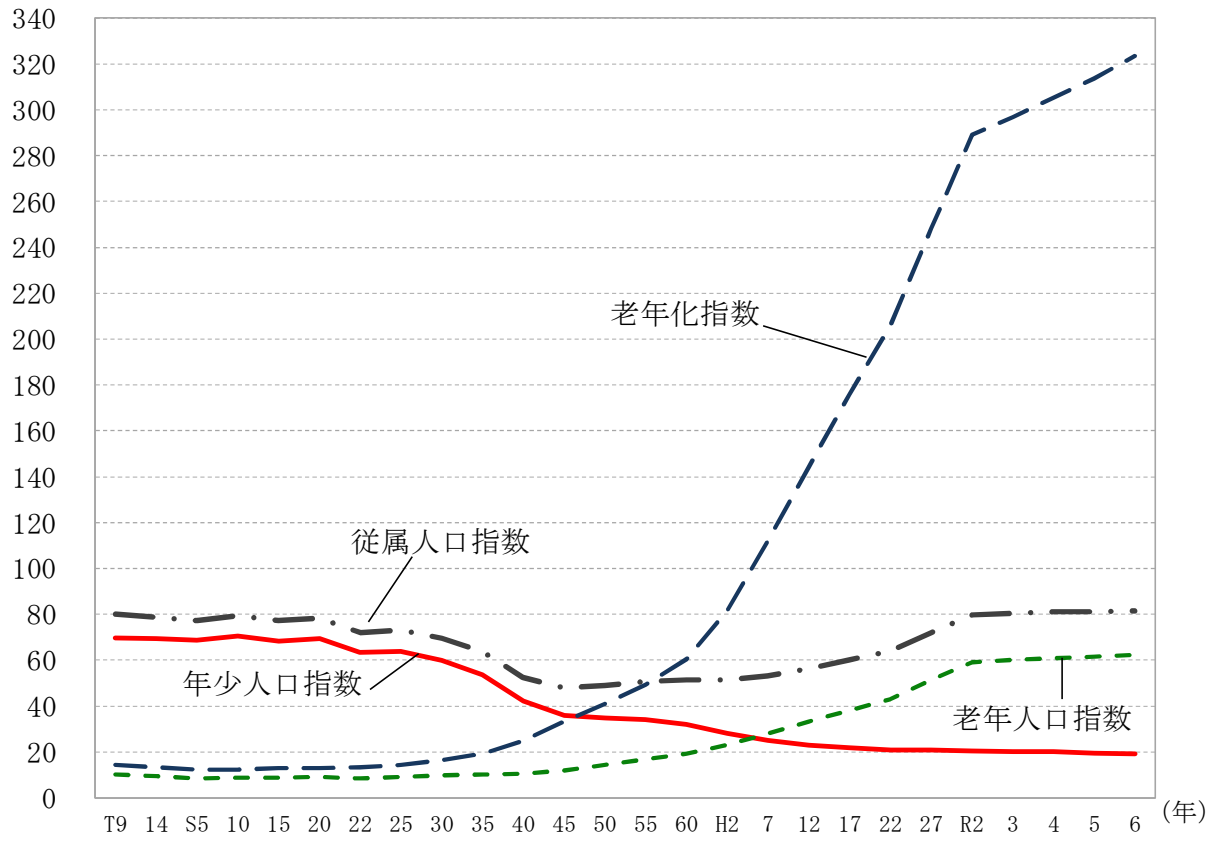


図３　年齢構造指数の推移



※）老年化指数とは、少子高齢化を表す指標です。
この指数は、高いほど少子高齢化の度合いが進んでいることを示しています。

県内市町村の年齢３区分別人口の割合をみると、年少人口の割合が最も高いのは聖籠町の 14.3%で、最も低いのは阿賀町の 5.7%です。老年人口では、阿賀町の 52.5%が最も高く、聖籠町の 27.4%が最も低くなっています。**（表３、図４）**

なお、男女別の老年人口割合では、女性が 37.6%となっており、男性の 30.8%を 6.8%ポイント上回っています。

表３　市町村別年齢３区分別人口

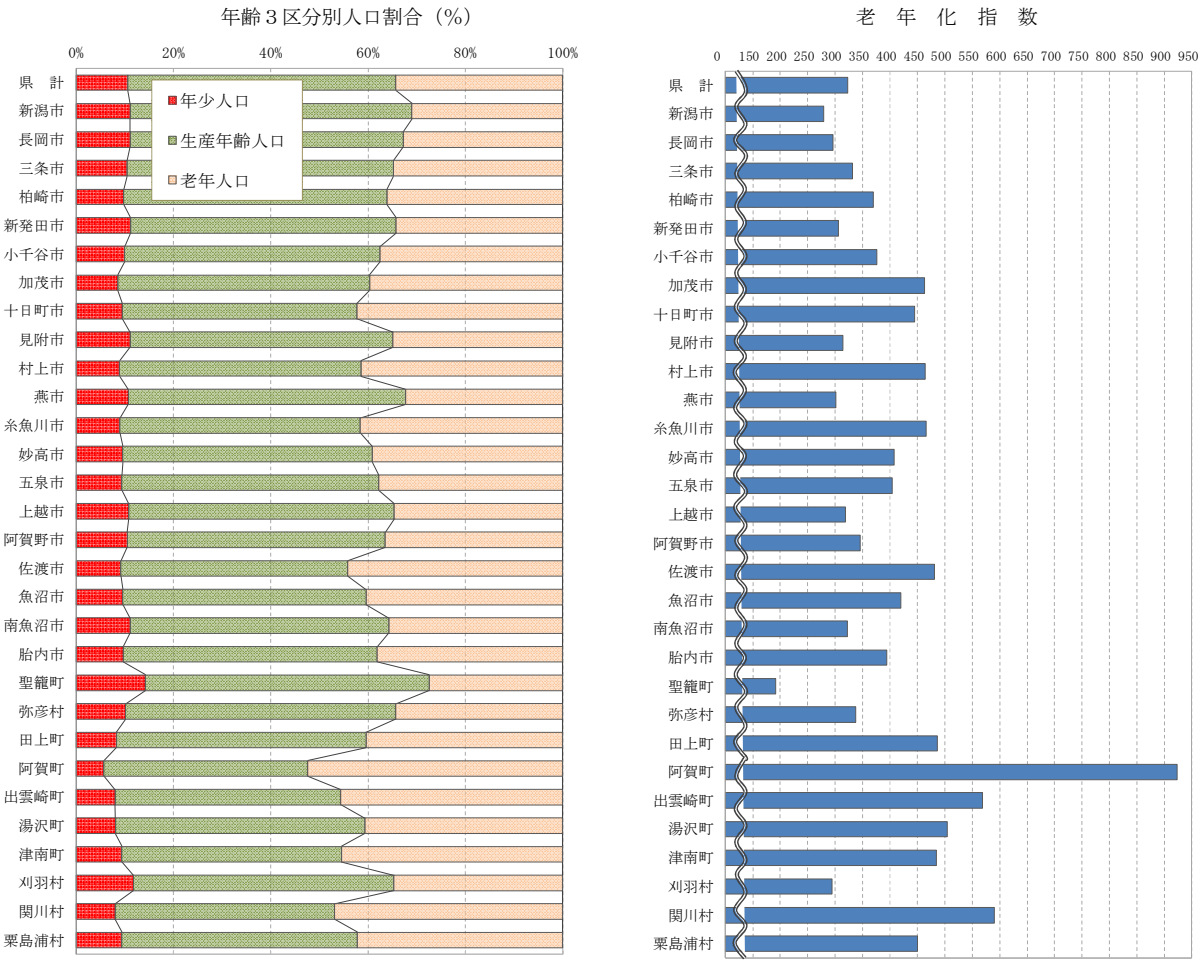
（単位：人、%）

区　分	年少人口（0～14歳）		生産年齢人口（15～64歳）		老年人口（65歳以上）		老年化指数
	実　数	割　合	実　数	割　合	実　数	割　合	
県　計	219,784	10.6	1,141,236	55.1	710,844	34.3	323.4
男	112,498	11.2	583,065	58.0	309,669	30.8	275.3
女	107,286	10.1	558,171	52.3	401,175	37.6	373.9
市部計	213,155	10.6	1,106,418	55.2	683,634	34.1	320.7
郡部計	6,629	9.7	34,818	50.7	27,210	39.6	410.5
新潟市	83,164	11.1	434,640	58.0	232,180	31.0	279.2
長岡市	27,975	11.1	142,035	56.2	82,917	32.8	296.4
三条市	9,360	10.5	48,784	54.7	31,074	34.8	332.0
柏崎市	7,302	9.8	40,520	54.1	27,022	36.1	370.1
新発田市	10,043	11.2	49,013	54.6	30,738	34.2	306.1
小千谷市	3,182	10.0	16,741	52.5	11,969	37.5	376.1
加茂市	1,993	8.6	12,027	51.7	9,230	39.7	463.1
十日町市	4,340	9.5	22,065	48.2	19,328	42.3	445.3
見附市	4,145	11.1	20,141	54.0	13,038	34.9	314.5
村上市	4,703	8.9	26,112	49.6	21,809	41.4	463.7
燕市	7,917	10.7	42,159	57.0	23,896	32.3	301.8
糸魚川市	3,330	9.0	18,374	49.4	15,490	41.6	465.2
妙高市	2,710	9.6	14,451	51.2	11,040	39.1	407.4
五泉市	4,149	9.4	23,431	52.8	16,767	37.8	404.1
上越市	19,172	10.8	96,711	54.6	61,182	34.6	319.1
阿賀野市	4,053	10.5	20,380	53.0	14,008	36.4	345.6
佐渡市	4,273	9.2	21,634	46.6	20,555	44.2	481.0
魚沼市	3,054	9.6	15,832	50.0	12,809	40.4	419.4
南魚沼市	5,703	11.1	27,400	53.2	18,397	35.7	322.6
胎内市	2,587	9.7	13,968	52.2	10,185	38.1	393.7
聖籠町	1,987	14.3	8,136	58.4	3,817	27.4	192.1
弥彦村	743	10.2	4,057	55.5	2,510	34.3	337.8
田上町	867	8.3	5,359	51.3	4,220	40.4	486.7
阿賀町	490	5.7	3,610	41.9	4,526	52.5	923.7
出雲崎町	299	8.0	1,729	46.4	1,699	45.6	568.2
湯沢町	606	8.1	3,854	51.3	3,057	40.7	504.5
津南町	763	9.4	3,673	45.2	3,699	45.5	484.8
刈羽村	485	11.8	2,211	53.6	1,430	34.7	294.8
関川村	359	8.0	2,034	45.1	2,117	46.9	589.7
粟島浦村	30	9.4	155	48.4	135	42.2	450.0

※１）年齢別人口には、年齢不明を含まないため、年齢別人口の和は総人口に一致しません。

※２）割合は、分母から年齢不明を除いて算出しています。

図４　市町村別年齢３区分別人口割合及び老年化指数



２　人　口　動　態

(1)　概　　況

－自然減少は平成 11 年から 26 年連続。減少数は令和３年から４年連続で拡大し過去最大－

－社会減少は平成９年から 28 年連続。県外減少数は令和３年以来３年ぶりに拡大－

令和５年 10 月１日から令和６年９月 30 日までの１年間の県人口の自然動態は、出生 10,258 人、死亡 33,247 人で、差引き 22,989 人の自然減少となりました。

社会動態は、転入 60,329 人（うち県外からの転入 27,959 人）、転出 64,812 人（うち県外への転出 32,507 人）で、差引き 4,483 人（うち県外差引き 4,548 人）の転出超過（社会減少）となりました。

人口動態の状況を昭和 41 年以降の推移でみると、自然動態のうち、出生数は昭和 52 年以降減少傾向にあり、令和６年は１万人台となっています。死亡数は昭和 63 年以降増加傾向にあり、令和６年は３万３千人台となっています。自然動態は、平成 10 年まで増加が続いていましたが、平成 11 年に減少に転じてからは 26 年連続で自然減少となっています。また、減少数は令和３年から４年連続で拡大し、過去最も大きくなっています。

一方、社会動態は、平成４年までは転出超過、平成５年から平成８年までは転入超過となっていましたが、平成９年に再び転出超過に転じてからは 28 年連続で社会減少となっています。また県外減少数は、令和３年以来３年ぶりに拡大しています。

なお、平成 20 年からは、自然減少数が社会減少数を上回っています。（**表４、図５**）

表４　自然動態・社会動態の推移

（単位：人）

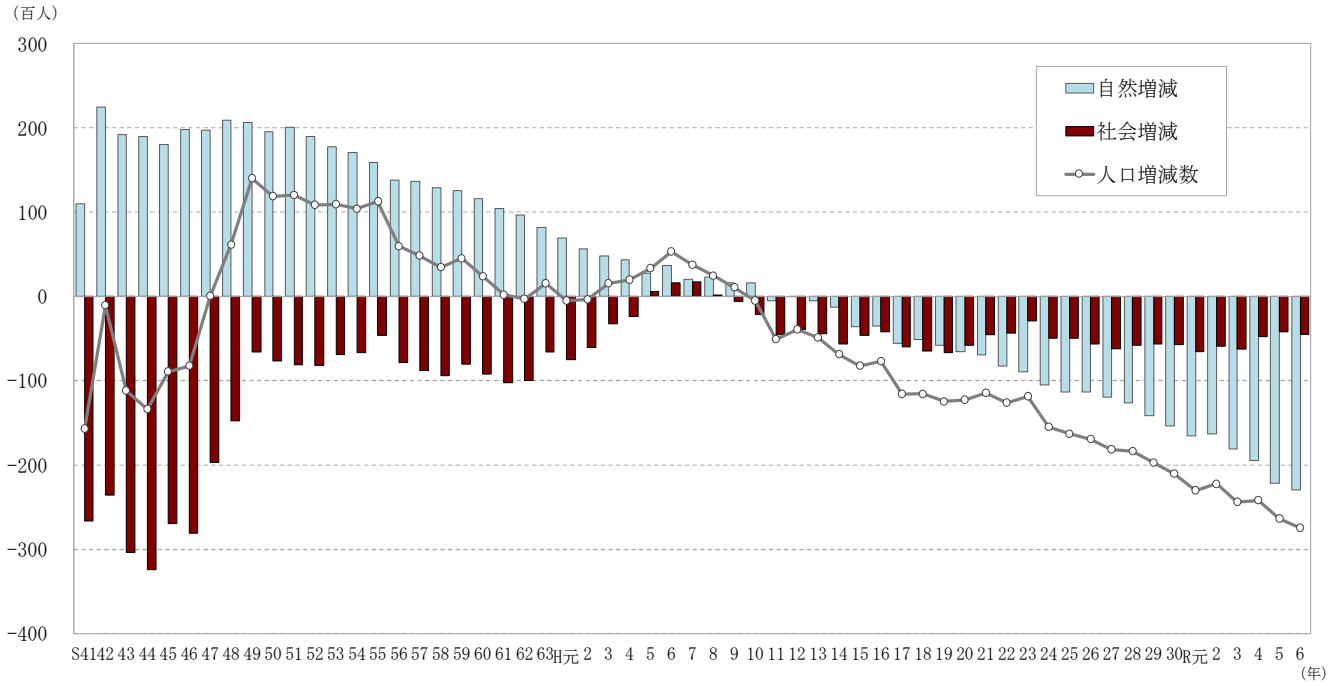
年次	自然動態			社会動態						増減数
	出生	死亡	差引	転入	うち県外	転出	うち県外	差引	うち県外	
昭和41年	29,544	18,581	10,963	98,703	43,155	125,378	61,259	△ 26,675	△ 18,104	△ 15,712
42	40,965	18,447	22,518	92,304	41,185	115,874	60,183	△ 23,570	△ 18,998	△ 1,052
43	38,047	18,862	19,185	103,923	42,551	134,300	67,387	△ 30,377	△ 24,836	△ 11,192
44	37,653	18,655	18,998	101,764	42,434	134,167	70,202	△ 32,403	△ 27,768	△ 13,405
45	37,078	19,064	18,014	99,530	42,309	126,490	68,105	△ 26,960	△ 25,796	△ 8,946
46	37,579	17,747	19,832	98,106	41,915	126,215	66,588	△ 28,109	△ 24,673	△ 8,277
47	37,408	17,681	19,727	97,893	43,114	117,599	62,832	△ 19,706	△ 19,718	21
48	38,772	17,872	20,900	97,613	44,003	112,402	59,451	△ 14,789	△ 15,448	6,111
49	38,833	18,215	20,618	99,613	46,468	106,208	54,941	△ 6,595	△ 8,473	14,023
50	37,171	17,639	19,532	93,751	43,362	101,412	51,368	△ 7,661	△ 8,006	11,871
51	37,643	17,553	20,090	91,300	42,128	99,401	49,635	△ 8,101	△ 7,507	11,989
52	36,411	17,384	19,027	90,428	42,853	98,609	50,793	△ 8,181	△ 7,940	10,846
53	35,389	17,612	17,777	87,991	41,661	94,851	48,380	△ 6,860	△ 6,719	10,917
54	33,799	16,709	17,090	89,611	41,565	96,291	48,258	△ 6,680	△ 6,693	10,410
55	33,406	17,498	15,908	89,826	42,359	94,470	46,758	△ 4,644	△ 4,399	11,264
56	31,520	17,727	13,793	87,118	40,533	94,951	48,150	△ 7,833	△ 7,617	5,960
57	30,827	17,172	13,655	86,444	39,221	95,273	47,781	△ 8,829	△ 8,560	4,826
58	30,582	17,671	12,911	86,097	38,698	95,520	47,751	△ 9,423	△ 9,053	3,488
59	30,294	17,717	12,577	83,586	38,226	91,644	45,973	△ 8,058	△ 7,747	4,519
60	29,276	17,681	11,595	81,778	37,210	90,974	45,767	△ 9,196	△ 8,557	2,399
61	28,531	18,096	10,435	80,551	36,663	90,778	46,500	△ 10,227	△ 9,837	208
62	27,342	17,675	9,667	80,776	36,779	90,734	46,474	△ 9,958	△ 9,695	△ 291
63	26,475	18,281	8,194	82,184	37,478	88,814	44,028	△ 6,630	△ 6,550	1,564
平成元年	25,386	18,408	6,978	81,688	37,353	89,182	44,740	△ 7,494	△ 7,387	△ 516
2	24,595	18,961	5,634	80,529	37,210	86,561	43,059	△ 6,032	△ 5,849	△ 398
3	23,855	19,027	4,828	81,994	38,382	85,250	41,796	△ 3,256	△ 3,414	1,572
4	23,996	19,679	4,317	83,133	39,354	85,498	41,728	△ 2,365	△ 2,374	1,952
5	23,295	20,554	2,741	86,499	40,602	85,901	39,902	598	700	3,339
6	23,999	20,333	3,666	87,358	40,729	85,735	39,083	1,623	1,646	5,289
7	23,190	21,168	2,022	88,787	41,294	87,072	39,449	1,715	1,845	3,737
8	22,902	20,579	2,323	87,017	39,802	86,873	39,633	144	169	2,467
9	22,736	21,126	1,610	87,779	39,998	88,346	40,565	△ 567	△ 567	1,043
10	22,756	21,152	1,604	85,008	39,541	87,133	41,693	△ 2,125	△ 2,152	△ 521
11	22,061	22,606	△ 545	82,473	36,562	87,010	40,967	△ 4,537	△ 4,405	△ 5,082
12	21,854	21,879	△ 25	81,844	36,830	85,777	40,750	△ 3,933	△ 3,920	△ 3,958
13	21,436	21,932	△ 496	80,823	36,444	85,214	40,884	△ 4,391	△ 4,440	△ 4,887
14	20,915	22,160	△ 1,245	78,153	35,465	83,793	40,940	△ 5,640	△ 5,475	△ 6,885
15	19,602	23,202	△ 3,600	78,587	35,763	83,207	40,579	△ 4,620	△ 4,816	△ 8,220
16	19,957	23,487	△ 3,530	76,911	35,713	81,097	39,861	△ 4,186	△ 4,148	△ 7,716
17	18,779	24,342	△ 5,563	68,687	33,944	74,712	40,004	△ 6,025	△ 6,060	△ 11,588
18	18,921	24,044	△ 5,123	63,170	32,291	69,617	38,915	△ 6,447	△ 6,624	△ 11,570
19	18,890	24,662	△ 5,772	66,159	31,173	72,846	38,019	△ 6,687	△ 6,846	△ 12,459
20	18,622	25,140	△ 6,518	70,530	29,849	76,303	35,820	△ 5,773	△ 5,971	△ 12,291
21	18,216	25,171	△ 6,955	68,533	29,044	73,067	33,913	△ 4,534	△ 4,869	△ 11,489
22	18,077	26,357	△ 8,280	65,867	28,451	70,191	32,761	△ 4,324	△ 4,310	△ 12,604
23	18,051	27,013	△ 8,962	65,535	28,435	68,442	31,421	△ 2,907	△ 2,986	△ 11,869
24	17,324	27,848	△ 10,524	63,528	27,186	68,493	31,653	△ 4,965	△ 4,467	△ 15,489
25	17,364	28,696	△ 11,332	63,832	26,937	68,795	31,603	△ 4,963	△ 4,666	△ 16,295
26	16,757	28,094	△ 11,337	63,296	26,227	68,936	31,833	△ 5,640	△ 5,606	△ 16,977
27	16,485	28,465	△ 11,980	63,262	26,272	69,438	32,413	△ 6,176	△ 6,141	△ 18,156
28	16,051	28,666	△ 12,615	62,649	26,524	68,442	32,430	△ 5,793	△ 5,906	△ 18,408
29	15,158	29,272	△ 14,114	62,422	26,722	68,043	32,373	△ 5,621	△ 5,651	△ 19,735
30	14,665	30,029	△ 15,364	62,149	26,883	67,849	32,579	△ 5,700	△ 5,696	△ 21,064
令和元年	13,973	30,484	△ 16,511	63,905	27,649	70,447	34,178	△ 6,542	△ 6,529	△ 23,053
2	13,148	29,506	△ 16,358	60,115	25,207	66,015	31,077	△ 5,900	△ 5,870	△ 22,258
3	12,794	30,909	△ 18,115	58,266	24,430	64,544	30,621	△ 6,278	△ 6,191	△ 24,393
4	12,006	31,467	△ 19,461	61,074	26,872	65,828	31,651	△ 4,754	△ 4,779	△ 24,215
5	11,207	33,396	△ 22,189	60,417	27,643	64,616	31,846	△ 4,199	△ 4,203	△ 26,388
6	10,258	33,247	△ 22,989	60,329	27,959	64,812	32,507	△ 4,483	△ 4,548	△ 27,472

※１）昭和41年～51年の動態数は、１月～12月の数値です。

※２）昭和52年～令和６年の動態数は、前年10月～当年９月の数値です。

※３）転入には、「従前の住所地が不明の者」、「職権記載による者」及び「帰化による者」を含み、
転出には、「職権消除による者」及び「国籍離脱の者」を含みます。

図５　人口動態の推移



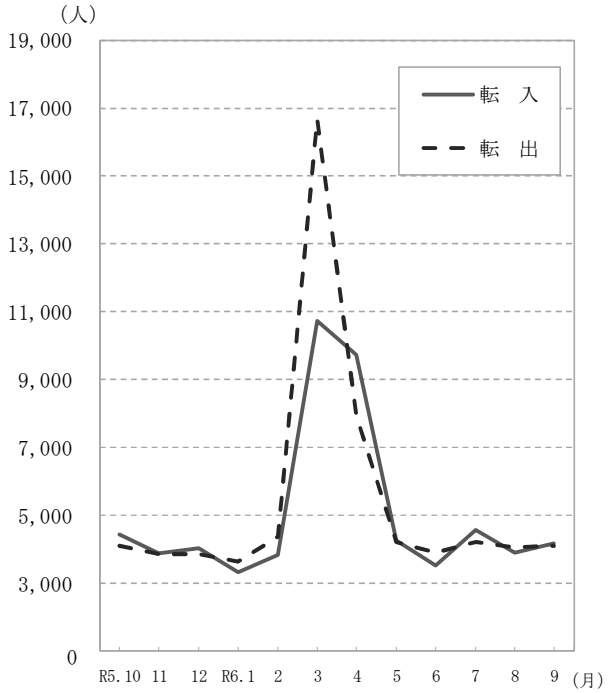
転出入者の月別の推移をみると、３月、４月の転勤、就職及び進学の時期に移動が集中しており、年間移動者数の中でこの２か月間が占める割合は、転入で 33.9%、転出で 37.9%となっています。（表５、図６）

表５　月別転出入者数

（単位:人、%）

月　別	転　入	割合	転　出	割合	差　引
令和５年10月	4,433	7.3	4,089	6.3	344
11	3,882	6.4	3,847	5.9	35
12	4,035	6.7	3,848	5.9	187
令和６年１月	3,315	5.5	3,624	5.6	△ 309
2	3,839	6.4	4,365	6.7	△ 526
3	10,723	17.8	16,663	25.7	△ 5,940
4	9,719	16.1	7,920	12.2	1,799
5	4,247	7.0	4,199	6.5	48
6	3,520	5.8	3,897	6.0	△ 377
7	4,559	7.6	4,215	6.5	344
8	3,893	6.5	4,044	6.2	△ 151
9	4,164	6.9	4,101	6.3	63
計	60,329	100.0	64,812	100.0	△ 4,483

図６　月別転出入者数の推移



(2)　市町村別人口動態

－30 市町村全てで人口が減少－

この１年間の自然動態と社会動態の差引で年間増減をみると、県内 30 市町村全てで人口が減少となりました。

減少数の多い市町村は新潟市△6,129 人、長岡市△2,944 人、上越市△2,515 人の順となっており、減少率では阿賀町△4.01％、粟島浦村△3.61％、関川村△3.28％の順となっています。（**表６**）

表６　市町村別人口及び対前年増減率

市町村別人口動態（上位10市町村）

（単位:人、％）

増加					
順位	市町村	増加数	順位	市町村	増加率
－	なし	－	－	なし	－

減少					
順位	市町村	減少数	順位	市町村	減少率
1	新潟市	△ 6,129	1	阿賀町	△ 4.01
2	長岡市	△ 2,944	2	粟島浦村	△ 3.61
3	上越市	△ 2,515	3	関川村	△ 3.28
4	佐渡市	△ 1,276	4	出雲崎町	△ 3.19
5	村上市	△ 1,263	5	津南町	△ 2.82
6	三条市	△ 1,225	6	佐渡市	△ 2.66
7	柏崎市	△ 1,217	7	村上市	△ 2.34
8	新発田市	△ 1,210	8	糸魚川市	△ 2.30
9	十日町市	△ 1,049	9	十日町市	△ 2.24
10	南魚沼市	△ 908	10	加茂市	△ 2.23

※）令和５年10月１日現在の人口に対するものです。

※１）（ ）内は対前年増減率

※２）増減率は、各市町村の１年間の人口動態の増減数より算出しています。

(3)　市町村別自然動態・社会動態

－自然動態は、30 市町村全てで減少－

－社会動態で増加（転入超過）した市町村は４市町村。26 市町村は減少（転出超過）－

自然動態をみると、30 市町村全てで減少しました。

減少数の多い市町村は新潟市△6,428 人、長岡市△2,442 人、上越市△1,887 人の順となっており、減少率では粟島浦村△3.01％、出雲崎町△2.75％、阿賀町△2.48％の順となっています。（**表７**）

社会動態をみると、転入超過が４市町村、転出超過が 26 市町村となりました。

転入超過の大きい市町村は新潟市 299 人、湯沢町 112 人、弥彦村 34 人の順となっており、転入超過率では湯沢町 1.46％、弥彦村 0.46％、新潟市 0.04％の順となっています。

転出超過の大きい市町村は上越市△628 人、長岡市△502 人、十日町市△389 人の順となっており、転出超過率では阿賀町△1.52％、関川村△0.92％、十日町市△0.83％の順となっています。（**表８**）

表７　市町村別自然動態

（単位：人、％）

増加					
順位	市町村	増加数	順位	市町村	増加率
－	なし	－	－	なし	－

減少					
順位	市町村	減少数	順位	市町村	減少率
1	新潟市	△ 6,428	1	粟島浦村	△ 3.01
2	長岡市	△ 2,442	2	出雲崎町	△ 2.75
3	上越市	△ 1,887	3	阿賀町	△ 2.48
4	新発田市	△ 1,013	4	関川村	△ 2.36
5	佐渡市	△ 983	5	佐渡市	△ 2.05
6	三条市	△ 980	6	津南町	△ 2.03
7	柏崎市	△ 964	7	糸魚川市	△ 1.68
8	村上市	△ 900	8	村上市	△ 1.67
9	燕市	△ 760	9	加茂市	△ 1.60
10	五泉市	△ 670	10	湯沢町	△ 1.60
11	十日町市	△ 660	11	妙高市	△ 1.57
12	糸魚川市	△ 645	12	五泉市	△ 1.48
13	南魚沼市	△ 620	13	田上町	△ 1.44
14	阿賀野市	△ 522	14	十日町市	△ 1.41
15	妙高市	△ 452	15	胎内市	△ 1.39
16	見附市	△ 437	16	阿賀野市	△ 1.33
17	魚沼市	△ 400	17	柏崎市	△ 1.25
18	小千谷市	△ 398	18	魚沼市	△ 1.23
19	加茂市	△ 381	19	小千谷市	△ 1.22
20	胎内市	△ 379	20	南魚沼市	△ 1.17
21	阿賀町	△ 223	21	見附市	△ 1.15
22	津南町	△ 171	22	新発田市	△ 1.11
23	田上町	△ 154	23	三条市	△ 1.07
24	湯沢町	△ 122	24	上越市	△ 1.04
25	関川村	△ 110	25	燕市	△ 1.01
26	出雲崎町	△ 106	26	弥彦村	△ 1.01
27	弥彦村	△ 74	27	長岡市	△ 0.94
28	聖籠町	△ 65	28	新潟市	△ 0.83
29	刈羽村	△ 33	29	刈羽村	△ 0.78
30	粟島浦村	△ 10	30	聖籠町	△ 0.46

※）令和５年10月１日現在の人口に対するものです。同率の場合の順位は、表章未満の位で決定しています。

表８　市町村別社会動態

（単位：人、％）

転入超過					
順位	市町村	増加数	順位	市町村	転入超過率
1	新潟市	299	1	湯沢町	1.46
2	湯沢町	112	2	弥彦村	0.46
3	弥彦村	34	3	新潟市	0.04
4	燕市	25	4	燕市	0.03

転出超過					
順位	市町村	減少数	順位	市町村	転出超過率
1	上越市	△ 628	1	阿賀町	△ 1.52
2	長岡市	△ 502	2	関川村	△ 0.92
3	十日町市	△ 389	3	十日町市	△ 0.83
4	村上市	△ 363	4	魚沼市	△ 0.81
5	佐渡市	△ 293	5	津南町	△ 0.79
6	南魚沼市	△ 288	6	村上市	△ 0.67
7	魚沼市	△ 263	7	小千谷市	△ 0.64
8	柏崎市	△ 253	8	加茂市	△ 0.63
9	三条市	△ 245	9	糸魚川市	△ 0.62
10	糸魚川市	△ 236	10	佐渡市	△ 0.61
11	小千谷市	△ 210	11	粟島浦村	△ 0.60
12	新発田市	△ 197	12	南魚沼市	△ 0.54
13	五泉市	△ 191	13	田上町	△ 0.54
14	加茂市	△ 150	14	出雲崎町	△ 0.44
15	阿賀町	△ 137	15	胎内市	△ 0.43
16	阿賀野市	△ 125	16	五泉市	△ 0.42
17	胎内市	△ 117	17	刈羽村	△ 0.36
18	見附市	△ 113	18	上越市	△ 0.35
19	津南町	△ 67	19	柏崎市	△ 0.33
20	田上町	△ 58	20	阿賀野市	△ 0.32
21	関川村	△ 43	21	見附市	△ 0.30
22	妙高市	△ 27	22	三条市	△ 0.27
23	聖籠町	△ 24	23	新発田市	△ 0.22
24	出雲崎町	△ 17	24	長岡市	△ 0.19
25	刈羽村	△ 15	25	聖籠町	△ 0.17
26	粟島浦村	△ 2	26	妙高市	△ 0.09

※）令和５年10月１日現在の人口に対するものです。同率の場合の順位は、表章未満の位で決定しています。

(4) 県内移動の状況

この１年間の県内市町村間の移動者数は、転入 32,081 人、転出 32,066 人でした。

転入者について年齢別にみると、25～29 歳が 6,520 人（構成比 20.3%）で最も多く、次いで 20～24 歳が 5,615 人(同 17.5%)となっており、20 歳代の占める割合は全体の 37.8%となっています。（**表９**）

表９　年　齢　別　転　出　入　（県　内）

（単位：人、%）

年　齢	県内					
	転入			転出		
	令和5年（構成比）	令和6年（構成比）	増減数（率）	令和5年（構成比）	令和6年（構成比）	増減数（率）
計	32,455 (100.0)	32,081 (100.0)	△ 374 (△1.2)	32,504 (100.0)	32,066 (100.0)	△ 438 (△1.3)
0 ～14歳	3,145 (9.7)	2,934 (9.1)	△ 211 (△6.7)	3,153 (9.7)	2,936 (9.2)	△ 217 (△6.9)
15～19歳	1,478 (4.6)	1,418 (4.4)	△ 60 (△4.1)	1,488 (4.6)	1,431 (4.5)	△ 57 (△3.8)
20～24歳	5,728 (17.6)	5,615 (17.5)	△ 113 (△2.0)	5,753 (17.7)	5,615 (17.5)	△ 138 (△2.4)
25～29歳	6,728 (20.7)	6,520 (20.3)	△ 208 (△3.1)	6,724 (20.7)	6,503 (20.3)	△ 221 (△3.3)
30～34歳	4,434 (13.7)	4,273 (13.3)	△ 161 (△3.6)	4,440 (13.7)	4,265 (13.3)	△ 175 (△3.9)
35～44歳	4,342 (13.4)	4,324 (13.5)	△ 18 (△0.4)	4,337 (13.3)	4,332 (13.5)	△ 5 (△0.1)
45～54歳	2,568 (7.9)	2,598 (8.1)	30 (1.2)	2,571 (7.9)	2,592 (8.1)	21 (0.8)
55～64歳	1,531 (4.7)	1,689 (5.3)	158 (10.3)	1,530 (4.7)	1,690 (5.3)	160 (10.5)
65～74歳	1,002 (3.1)	1,033 (3.2)	31 (3.1)	1,005 (3.1)	1,032 (3.2)	27 (2.7)
75歳以上	1,499 (4.6)	1,677 (5.2)	178 (11.9)	1,503 (4.6)	1,670 (5.2)	167 (11.1)

※１）県内の転入・転出の不一致は届出の時間差等によります。

※２）構成比の内訳は四捨五入してあるので、必ずしも総数に一致しません。

(5) 県外移動の状況

この１年間の県外移動者数は、転入 27,959 人、転出 32,507 人で、4,548 人の転出超過となり、28 年連続の転出超過となりました。減少数は、令和３年以来３年ぶりに拡大しています。

年齢別にみると、転入は 20～24 歳が 6,631 人（構成比 23.7%）で最も多く、25～29 歳が 5,452 人（同 19.5%）と続いています。転出も同様に 20～24 歳が 9,983 人（同 30.7%）で最も多く、25～29 歳が 5,999 人（同 18.5%）と続いています。

転出超過数を年齢別にみると、大学を卒業して就職する年齢を含む 20～24 歳で 3,352 人、高校を卒業して進学、就職する年齢を含む 15～19 歳で 586 人の転出超過となっています。**（表 10、図７）**

表 10　年 齢 別 転 出 入 （県 外）

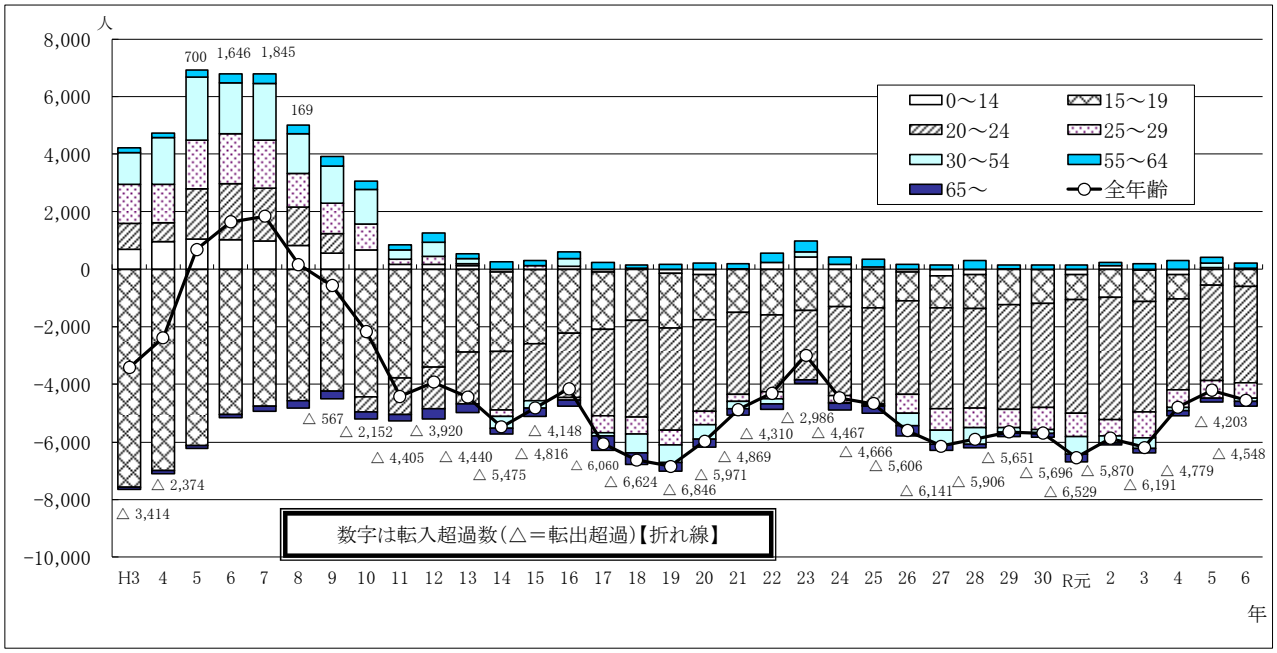
（単位：人、%）

年　齢	県外								
	転入			転出			差引		
	令和5年（構成比）	令和6年（構成比）	増減数（率）	令和5年（構成比）	令和6年（構成比）	増減数（率）	令和5年	令和6年	増減数
計	27,643 (100.0)	27,959 (100.0)	316 (1.1)	31,846 (100.0)	32,507 (100.0)	661 (2.1)	△ 4,203	△ 4,548	△ 345
0 ～14歳	2,208 (8.0)	2,132 (7.6)	△ 76 (△3.4)	2,137 (6.7)	2,098 (6.5)	△ 39 (△1.8)	71	34	△ 37
15～19歳	2,135 (7.7)	2,048 (7.3)	△ 87 (△4.1)	2,679 (8.4)	2,634 (8.1)	△ 45 (△1.7)	△ 544	△ 586	△ 42
20～24歳	6,349 (23.0)	6,631 (23.7)	282 (4.4)	9,671 (30.4)	9,983 (30.7)	312 (3.2)	△ 3,322	△ 3,352	△ 30
25～29歳	5,073 (18.4)	5,452 (19.5)	379 (7.5)	5,679 (17.8)	5,999 (18.5)	320 (5.6)	△ 606	△ 547	59
30～34歳	3,215 (11.6)	3,203 (11.5)	△ 12 (△0.4)	3,188 (10.0)	3,257 (10.0)	69 (2.2)	27	△ 54	△ 81
35～44歳	3,574 (12.9)	3,585 (12.8)	11 (0.3)	3,499 (11.0)	3,503 (10.8)	4 (0.1)	75	82	7
45～54歳	2,414 (8.7)	2,305 (8.2)	△ 109 (△4.5)	2,382 (7.5)	2,437 (7.5)	55 (2.3)	32	△ 132	△ 164
55～64歳	1,413 (5.1)	1,446 (5.2)	33 (2.3)	1,209 (3.8)	1,264 (3.9)	55 (4.5)	204	182	△ 22
65～74歳	730 (2.6)	659 (2.4)	△ 71 (△9.7)	622 (2.0)	604 (1.9)	△ 18 (△2.9)	108	55	△ 53
75歳以上	532 (1.9)	498 (1.8)	△ 34 (△6.4)	780 (2.4)	728 (2.2)	△ 52 (△6.7)	△ 248	△ 230	18

※１）構成比の内訳は四捨五入してあるので、必ずしも総数に一致しません。

※２）差引（令和５年・令和６年）欄の△は転出超過です。

図７　年齢別県外移動の推移



男女別でみると、転入は男性 15,956 人、女性 12,003 人、転出は男性 17,643 人、女性 14,864 人で、男性は 1,687 人の転出超過、女性は 2,861 人の転出超過になりました。

男女別・年齢別にみると、転入は男性の 20～24 歳が 3,750 人で最も多く、男性の 25～29 歳が 2,985 人と続いています。転出は男性の 20～24 歳が 5,198 人で最も多く、女性の 20～24 歳が 4,785 人と続いています。

また、転出超過数は、女性の 20～24 歳が 1,904 人で最も多くなっています。**（表 11）**

表 11　男女別・年齢別県外転出入者数

（単位：人）

転出入＼年齢		計	0 ～14歳	15～19	20～24	25～29	30～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75歳以上
転入		27,959	2,132	2,048	6,631	5,452	3,203	3,585	2,305	1,446	659	498
	男	15,956	1,144	1,084	3,750	2,985	1,844	2,130	1,451	946	426	196
	女	12,003	988	964	2,881	2,467	1,359	1,455	854	500	233	302
転出		32,507	2,098	2,634	9,983	5,999	3,257	3,503	2,437	1,264	604	728
	男	17,643	1,035	1,422	5,198	3,303	1,844	2,032	1,481	790	303	235
	女	14,864	1,063	1,212	4,785	2,696	1,413	1,471	956	474	301	493
転入超過		△ 4,548	34	△ 586	△ 3,352	△ 547	△ 54	82	△ 132	182	55	△ 230
（転出超過	男	△ 1,687	109	△ 338	△ 1,448	△ 318	0	98	△ 30	156	123	△ 39
＝△）	女	△ 2,861	△ 75	△ 248	△ 1,904	△ 229	△ 54	△ 16	△ 102	26	△ 68	△ 191

地方別にみると、関東との間の移動が最も多く、転入 11,645 人、転出 17,732 人で、それぞれ 41.7%、54.5%を占めています。

転出入超過をみると、関東との間では、6,087 人の転出超過となっており、前年（5,407 人の転出超過）と比べると転出超過数は 680 人増加しました。東京圏との間では、5,955 人の転出超過となっており、前年（5,130 人の転出超過）と比べると転出超過数は 825 人増加しました。特に東京都との間では、3,112 人の転出超過となっており、前年（2,495 人の転出超過）と比べると転出超過数は 617 人増加しました。

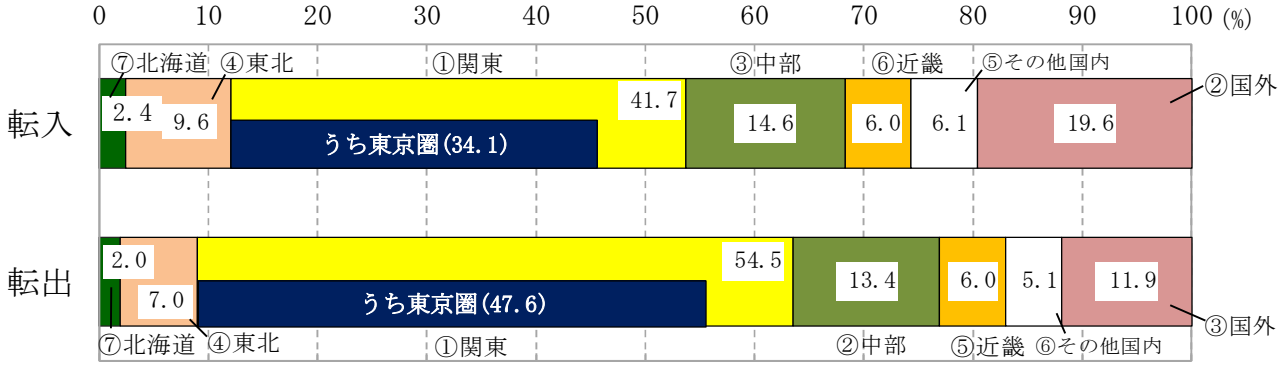
また、国外との間では、1,619 人の転入超過となっており、前年（1,773 人の転入超過）と比べると転入超過数は 154 人減少しました。**（表 12、13、図８）**

表 12　県外地方別転出入者数

（単位：人）

地方・都道府県			転　入		転　出		転入超過（転出超過＝△）	
			令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年
総　　数			27,643	27,959	31,846	32,507	△ 4,203	△ 4,548
北 海 道			676	672	640	635	36	37
東　北			2,677	2,696	2,272	2,283	405	413
	うち	岩手県	202	184	132	140	70	44
		宮城県	608	614	739	716	△ 131	△ 102
		山形県	672	602	467	456	205	146
		福島県	735	787	586	617	149	170
関　東			12,026	11,645	17,433	17,732	△ 5,407	△ 6,087
	うち	群馬県	1,034	1,010	1,229	1,106	△ 195	△ 96
	うち東京圏	埼玉県	2,003	2,060	3,214	3,347	△ 1,211	△ 1,287
		千葉県	1,479	1,564	1,950	1,928	△ 471	△ 364
		東京都	4,331	3,985	6,826	7,097	△ 2,495	△ 3,112
		神奈川県	2,068	1,919	3,021	3,111	△ 953	△ 1,192
		東京圏小計	9,881	9,528	15,011	15,483	△ 5,130	△ 5,955
中　部			3,944	4,079	4,522	4,361	△ 578	△ 282
	うち	富山県	634	670	607	656	27	14
		石川県	527	585	690	620	△ 163	△ 35
		長野県	1,172	1,226	1,226	1,185	△ 54	41
		愛知県	691	666	930	873	△ 239	△ 207
近　畿			1,578	1,677	1,964	1,961	△ 386	△ 284
	うち	大阪府	566	617	811	872	△ 245	△ 255
その他国内			1,493	1,710	1,539	1,674	△ 46	36
国　外			5,249	5,480	3,476	3,861	1,773	1,619

図８　県外地方別転出入先割合



※）丸数字は割合の大きい順位

表 13　県外転出入 地方別・年齢別構成比

（単位：%）

転出入先＼年齢		計	0～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75以上
転入	計	100.0	7.6	7.3	23.7	19.5	11.5	7.4	5.4	4.2	4.0	3.1	2.1	1.4	0.9	1.8
	北海道	2.4	0.2	0.2	0.6	0.4	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	東　北	9.6	0.8	1.6	2.5	1.3	0.8	0.6	0.5	0.4	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1	0.2
	関　東	41.7	3.3	1.8	8.8	8.6	4.6	3.2	2.3	1.8	1.8	1.5	1.3	0.9	0.6	1.1
	中　部	14.6	1.1	1.4	3.4	2.5	1.6	1.1	0.8	0.7	0.7	0.6	0.3	0.2	0.1	0.2
	近　畿	6.0	0.5	0.3	1.5	1.1	0.7	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
	他国内	6.1	0.6	0.4	1.3	1.1	0.7	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1
	国外	19.6	1.2	1.6	5.5	4.5	2.8	1.5	0.9	0.5	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
転出	計	100.0	6.5	8.1	30.7	18.5	10.0	6.4	4.4	3.9	3.6	2.5	1.4	1.0	0.9	2.2
	北海道	2.0	0.2	0.2	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
	東　北	7.0	0.7	0.6	1.9	1.2	0.7	0.5	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1
	関　東	54.5	2.7	5.0	19.7	9.7	4.6	2.9	2.0	1.8	1.7	1.1	0.7	0.6	0.5	1.5
	中　部	13.4	1.0	1.2	3.3	2.2	1.4	0.9	0.7	0.7	0.6	0.5	0.2	0.1	0.1	0.3
	近　畿	6.0	0.4	0.5	1.6	1.3	0.6	0.4	0.2	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1
	他国内	5.1	0.6	0.2	1.0	0.9	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1
	国外	11.9	0.9	0.3	2.8	3.0	1.9	1.2	0.7	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0

〈参考〉

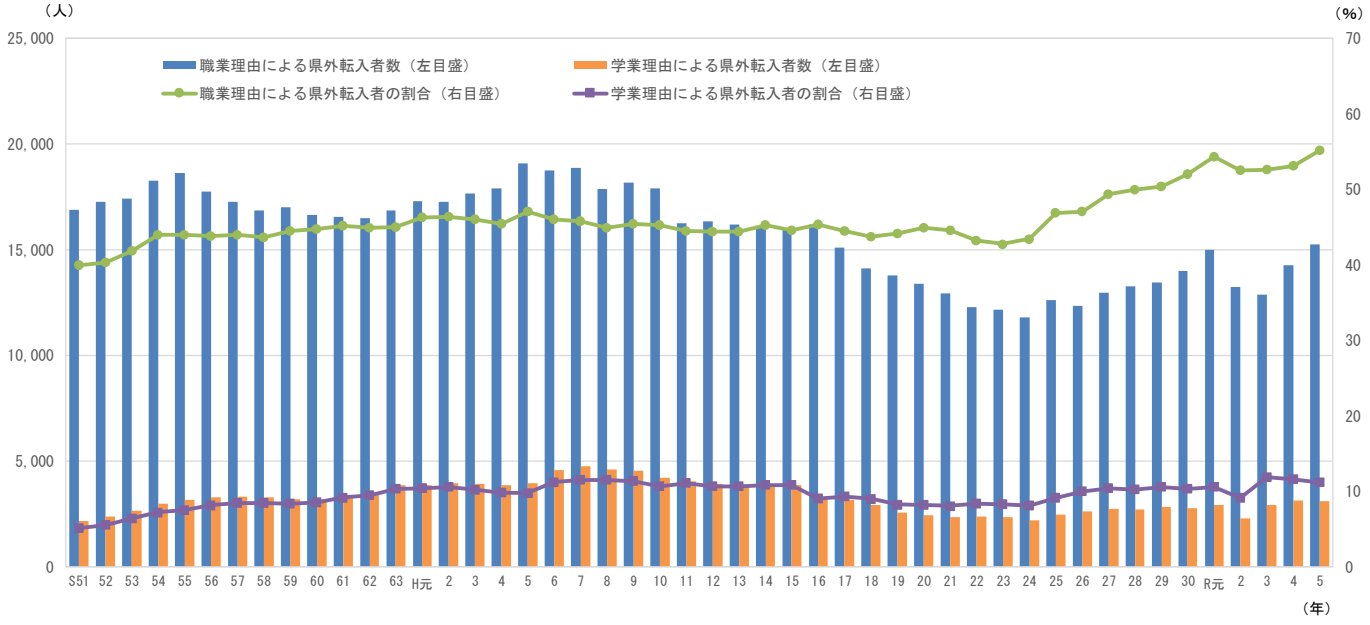
理由（職業、学業）別の県外移動者数及び割合の推移（昭和 51 年～令和５年）

(1)　県外転入

職業理由による県外転入者数の推移をみると、平成５年に最多の 19,077 人となり、その後、減少傾向が続き、平成 24 年に最少の 11,794 人となりましたが、令和５年には 15,245 人まで増加しました。職業理由による県外転入者が県外転入者全体に占める割合の推移をみると、昭和 51 年が 39.9％と最低で、以後 35 年間をみると、40％から 47％までの範囲で緩やかに増加しながらも概ね横這い傾向で推移していましたが、平成 24 年から増加傾向となり、平成 29 年以降は 50％を超え、令和５年に 55.1％と最高となっています。

学業理由による県外転入者数の推移をみると、昭和 51 年が最少の 2,147 人で、以後、緩やかに増加し、平成７年に最多の 4,756 人となりました。その後、減少傾向が続き、平成 24 年に２番目に少ない 2,189 人となり、その後、令和５年まで横ばい傾向が続いています。学業理由による県外転入者が県外転入者全体に占める割合の推移をみると、昭和 51 年が 5.1％と最低で、昭和 63 年に初めて 10％を超え、令和３年の 11.9％が最高となっています。

職業理由の割合は、昭和 51 年以降、学業理由の割合に比べ、35％ポイント程度上回る割合で推移してきましたが、平成 25 年頃からその差が開き始め、平成 30 年以降は 40％ポイントを上回る割合で推移しています。

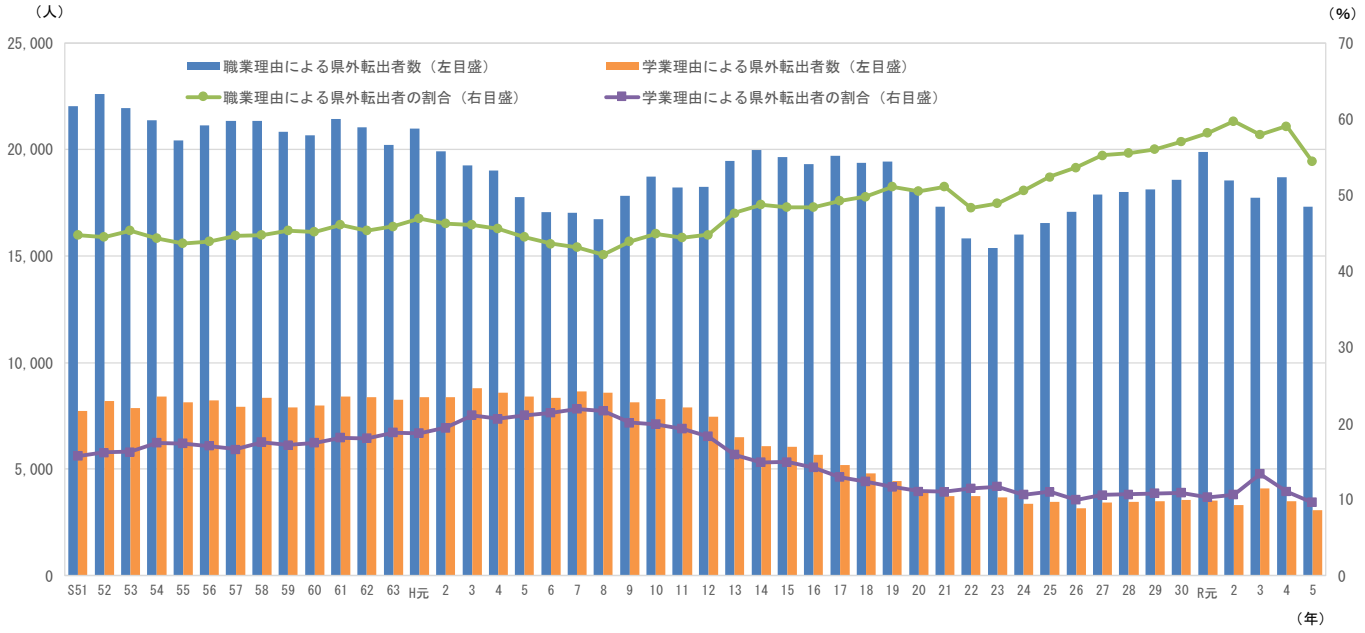


(2)　県外転出

職業理由による県外転出者数の推移をみると、昭和 52 年に最多の 22,605 人を記録して以降、増減を繰り返しながら減少傾向となり、平成 23 年に最少の 15,376 人となりました。その後、増加に転じ、令和元年には 19,883 人まで増加しました。職業理由による県外転出者が県外転出者全体に占める割合の推移をみると、昭和 51 年からの 25 年間は、42%から 47%までの範囲で概ね横ばいで推移していましたが、最低となった平成 8 年から増加傾向となり、令和２年に 59.7%と最高となっています。

学業理由による県外転出者数の推移をみると、平成３年に最多の 8,794 人となり、その後、減少傾向となっています。学業理由による県外転出者が県外転出者全体に占める割合の推移をみると、平成７年が 21.9%と最高で、その後、減少傾向となっています。

職業理由の割合は、昭和 51 年以降、学業理由の割合に比べ、25%ポイントから 30%ポイント程度上回る割合で推移してきましたが、平成５年頃からその差は緩やかに縮小し、平成８年に最小の 20.6%ポイントの差となって以降は差が開き始め、平成 24 年以降は 40%ポイントを上回る割合で推移しています。



※　昭和 51 年の職業理由は「出稼ぎ」を含みます。

※　令和５年の県外転出について、引越し手続オンラインサービス利用による転出届分は、理由の把握ができないため、「その他」に含めています。県外転入や令和４年以前との単純な比較ができないため、十分に留意が必要です。

※　令和６年の理由別の県外移動者数及び割合は、新潟市において、令和６年１月より住民記録システムのシステム標準化を行ったことから移動の理由が把握できなくなったため掲載していません。